一般社団法人つながる社会保障サポートセンター
「2020 年度　事業報告」

(1)社会福祉，社会保障に関する相談支援

＊2020（令和 2）年４月１３日に一般社団法人を設立し、新しい法人運営をスタートしました。
＊新型コロナ感染症の拡大や緊急事態宣言により、設立総会・記念講演をはじめ、ほとんどの事業が延期・中止となりました。しかし、8 月 1 日に臨時社員総会を書面評決・ZOOM 参加などを工夫して開催し、法人運営の基礎となる役員の承認、会費の決定、活動規約の制定、2020 年度事業計画と収支予算の承認、定款の一部変更を確定しました。
＊ホームページとメーリングリストを開設し、社会福祉，社会保障や新型コロナによる困窮対策などに関する最新情報など、相談支援者にとって役に立つ情報を随時発信してきました。また、メーリングリストのルールを定めた「メーリングリスト運営規則」を制定しました。
＊「コロナ災害を乗り越える　命とくらしを守る何でも電話相談会」（フリーダイヤル・相談無料）に毎回参加しました。相談員向けのＱ＆Ａは、多くの理事の知恵と経験を活かして、常に最新の情報となるよう、各相談会前には改訂作業にも積極的に参画しました。
電話相談会６回：
2020 年 4 月 18 日・19 日、6 月 6 日、8 月 8 日、10 月 10 日、12 月 19 日、2021 年 2 月 20 日

（2）社会福祉、社会保障に関する講師派遣及び研修

＊新型コロナ感染症の拡大により、研修会・学習会等のリアル開催は、断念しました。しかし、ZOOM を活用した学習会を 4 回開催し、コロナ禍で複雑・多様化する相談支援現場の課題把握と情報の共有に努めました。

●2020 年 5 月 10 日（土）午後 1 時から 5 時
「コロナ災害を乗り越える緊急学習会」
（全国クレサラ・生活再建問題対策協議会主催。ZOOM）に参画。林星一理事が「生活困窮者支援(住居確保，家計相談支援など)」の講師を担当。

●2020 年 9 月 5 日（土）　午前 10 時 30 分～12 時
「コロナ災害を乗り越える いのちとくらしを守る ZOOM 学習会」第３回
「コロナ禍における生活困窮者支援の実際～つながることで活かせる支援制度」
（全国クレサラ・生活再建問題対策協議会と、つながる社会保障サポートセンターが共催）。
＊講師：生水裕美理事、林星一理事、小久保哲郎理事が講師を担当。
＊参加者：80 人（正会員：28 人、その他：52 人）

●2021 年 1 月 30 日（土）午前 10 時～12 時　つなサポ連続 ZOOM 学習会
「住民税非課税制度を理解しよう」
＊講師：野洲市納税推進課　牧利昌さん、社会福祉課　宇都宮誠実理事
＊参加者：58 人（正会員：22 人、賛助会員：5 人、メーリス会員：12 人、
一般：11 人、不明：7 人、講師：１人）

●2021 年 2 月 20 日（土）午前 10 時～12 時　つなサポ連続 ZOOM 学習会
「生活困窮者支援の現場から～行動変容を促す家計改善支援のしかた」
＊講師：中森順子さん（家計改善支援員　行動アシストラボ）
生水裕美理事（滋賀県野洲市　市民部次長）
＊参加者：52 人（正会員：22 人、賛助会員：6 人、メーリス会員：15 人、
一般：7 人、講師：2 人）

（３）社会福祉、社会保障に関する調査・研究、提言

●新型コロナ禍による困窮者支援を中心に、社会福祉、社会保障に関する政策課題を理事会議等で議論・検討し、国への緊急提言を 3 回提出しました。

＊総合支援資金等の特例貸付の償還免除に関して　緊急提言　2 回
＊公営住宅法省令の一部改正（生活困窮者一時支援事業の公営住宅活用）について、賛成のパブリックコメントと公営住宅の抜本的改善・普遍的住宅手当の創設を提起。

●日本・台湾オンライン交流会を共催しました。
2020 年 12 月 18 日（金）　午後 3 時～5 時
＊テーマ：コロナ後の社会状況、社会保障と税制、財源など
＊講師：猪股正弁護士、呉宗昇准教授
＊主催：東アジア生活再建市民会議準備会

（４）その他　附属明細

●理事会議（ZOOM）
6 回開催：2020 年 5 月 17 日、7 月 5 日、8 月 22 日、10 月 24 日、
11 月 23 日、2021 年 2 月 6 日

●会員数（2021 年 3 月 31 日現在）
正会員　：　　５６人（理事・監事１５名含む）、
賛助会員：　　１２人
メーリングリスト会員：７０人
合計　：　　１３８人